

お客様各位

一般財団法人日本食品分析センター

「ボツリヌス菌」の分析方法変更及び「ボツリヌス毒素」の受託中止について
～マウス・バイオアッセイの中止と PCR 法による新規受託開始のご案内～

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、弊財団では動物福祉及び動物倫理の観点から、マウス・バイオアッセイによる「ボツリヌス菌」及び「ボツリヌス毒素」の分析試験を中止し、新たに「PCR 法」を使用した「ボツリヌス菌(ボツリヌス毒素遺伝子の確認)」を受託いたしますのでご案内申し上げます。

お客様にはご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

敬具

記

1. 変更開始日

2026 年 1 月 5 日受託分*より

* 受付した旨のご連絡(預り証)をもって受託としております。

2. 変更内容

1) ボツリヌス菌

マウス・バイオアッセイを終了し、ボツリヌス毒素遺伝子の有無を確認する PCR 法による検出試験を新たに受託いたします。

	変更前	変更後
分析試験項目	ボツリヌス菌	ボツリヌス菌(ボツリヌス毒素遺伝子の確認)
方法	増菌培養法	PCR 法
結果報告	「陰性/10g」又は「陽性/10g」	「陰性」又は「ボツリヌス毒素遺伝子を認める」
注釈記載事項	—	検体 25g を試験に供した。
分析料金		36,000 円
納期		18 営業日

2) ボツリヌス毒素

ボツリヌス毒素（タンパク質）そのものの検出は PCR 法では検出できないため、当該試験の受託を中止いたします。

3. 変更の背景

「ボツリヌス菌」及び「ボツリヌス毒素」の分析は、マウスの生死によって判定するマウス・バイオアッセイとなっておりました。しかしながら、動物福祉及び動物倫理の観点から動物を用いた試験の削減・代替の推進は社会的要請の一つであることを踏まえ、マウス・バイオアッセイを中止することといたしました。今後は科学的に妥当な代替手法である PCR 法へ移行いたします。なお、PCR 法は毒素遺伝子の有無を検出する手法であり、毒素タンパク質の有無を直接示すものではないことをご留意ください。

ボツリヌス毒素につきましては、受託を中止させていただきます。

4. 本件に関するお問合せ先

一般財団法人日本食品分析センター 彩都研究所 微生物部 微生物試験課

メール : botulinus@jfrl.or.jp

電話 : 072-641-8954

以上

20251203